トップの視点

知恵が価値をもつ時代へ

㈱CSK　代表取締役会長兼社長　大川　功

ブレークスルーの必要性

バブル経済時の景気過熱は，過剰とも思えるほどの設備投資ブームを引き起こし，生産能力は消費をはるかに上回るものとなった．また，個人消費ブームにより，自動車や家電，コンピュータなどの耐久消費財はほとんど普及してしまい，消費者が飛びつくような商品，欲しがるような商品が存在しなくなってしまった．現在の日本経済，そしてあらゆる産業は今まで面したことがないような大きな壁に衝突しているが，それはマーケットの成熟化がもたらしているのであろう．

すなわち，現在はマーケットの成熟化をどうブレークスルーするかということが求められている．そのためにはチャレンジ精神やクリエイティブな発想で，新しい製品やサービスを生み出すことが必要であろう．しかし，残念ながら日本にはチャレンジ精神やクリエイティブな発想が生み出される風土が培われていないといえる．

その原因の第1には，豊かな生活の中でハングリー精神が失われつつあるということが挙げられる．日本のスポーツ選手が世界的な大会で活躍できないのもその一例であろう．

第2に，あまりにも税率が高いため，起業に必要な資金を蓄えることが難しいということが考えられる．たとえば，米国における所得税の最高税率は州税も含めて35%程度であるが，日本における所得税の最高税率は住民税も含めて65%にも達している．

第3に，日本人がもつ特有のジェラシーということが挙げられる．あるビジネスを興し，その結果として得たお金は正当な報酬である．しかし，多くの日本人はまるでその人が悪いことをしてお金を得たように見なし，ジェラシーを抱くのである．

第4に，現在の日本に「成金」が存在しないということが考えられる．昔から文化や芸術，そして新しいビジネスを支えていたのは成金であった．しかし，今日では一億総中流化，一億総中産階級化してしまい，スポンサーとなる成金が存在しなくなってしまったのである．

そして第5に，日本の教育制度の問題点が挙げられる．米国においては個性重視の考える教育を行なっているのに対し，日本は記憶力重視，偏差値重視の教育を行なっている．そのため，人と違う考え方，あるいは斬新な発想が沸いてこないのである．

クリエイティブな米国企業

そのため，今私は米国のベンチャービジネスに注目している．日本とは違って米国にはベンチャービジネスが育ちやすい風土があり，今後10年間は米国のベンチャー企業の時代になるのではないかと考えている．エレクトロニクス，情報通信，ソフトウェア，あるいはバイオテクノロジーや超電導などの分野において，現状を打破するような新しい考え方を生み出してくるであろう．

たとえば，あるバイオのベンチャー企業では，鼻の穴のVNOという組織にフェロモンを注入することにより，感情などをコントロールする脳の

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．

視床下部を直接刺激するという研究を行なっている．薬の飲用ではその効果があらわれるまでにかなりの時間を要するが，この方法を用いれば，瞬時に作用させることも可能となる．日本においては薬事規制が厳しいこともあり，このような斬新な発想はなかなか生まれてこないであろう．

また，あるエレクトロニクスのベンチャー企業では，1.8インチで240メガバイトの容量があるハードディスクの研究開発を行なっている．ここへ自分が使用しているＯＳやアプリケーション，そしてデータを入力する，すなわち自分のソフトウェア環境をそのまま手帳に入れて持ち運びできるということであり，まさに究極のダウンサイジングと言うことができる．

今日まで日本は欧米製品の発想を頂戴した製品を高い品質で，しかも安価に製造することにより，急激な経済成長を遂げてきた．日本のモノマネ文化が壁にぶつかる一方，これからの10年間はクリエイティブな米国の時代になるのではないか，と私は睨んでいる．

現在が「情報化社会である証拠」すなわち知恵の時代へ

したがって，私どもＣＳＫグループとしても，新しい発想や斬新な考え方を積極的に取り入れることにより，現在われわれが直面している壁をブレークスルーしていくつもりである．これが情報サービス産業のリーディングカンパニーであるＣＳＫの使命であると考えている．

たとえば，当社のグループ会社であるセガ・エンタープライゼスの米国子会社は，ケーブルテレビ会社と提携し，ゲームソフトをケーブルテレビを用いて配信するというサービスを計画している．これが実現すれば，本やゲームソフトなどの流通システムを大きく変革させるであろう．

また，大ヒットした映画「ジュラシック・パーク」では，最新のコンピュータグラフィック技術を用いており，絶滅したはずの恐竜がまるで実写のようにスクリーンに登場してくる．今後，コンピュータグラフィックやバーチャルリアリティなどの技術発展は，映画や芸術を大きく変化させるであろう．ＣＳＫとしても映像技術に対して積極的な投資を行なっていくつもりである．

さらに，21世紀に向けて，映像を送信可能であるＢ―ＩＳＤＮの敷設計画が進められている．これが実現し，各家庭が光ファイバーで結ばれることになれば，マルチメディアが爆発的に普及することになり，家に居ながらにしてどこに何があるかということが，そしてそれを文字（キャラクター）ではなく映像（イメージ）で摑むことができるようになるであろう．

ＣＳＫグループとしてはＢ―ＩＳＤＮや衛星，無線といった新しいインフラストラクチャーと，斬新なアイディアやクリエイティブな発想，すなわち知恵と組み合せることにより，新しい商品やサービスを生み出し，工業化社会から情報化社会への橋渡し役となっていく所存である．

コンピュータ業界の巨人であるＩＢＭの時価総額を，弱冠37歳のビル・ゲイツ氏率いるマイクロソフトの時価総額が上回った．わずか20年前に数名の社員で設立された企業が，世界のエクセレントカンパニーを抜き去ったのである．工業化社会であれば，多額の資本を用いて土地を購入する，工場を建設する，あるいは多数の労働者が生産活動に必要であった．しかし，情報化社会においては何よりも知恵が大切なのである．このことを頭にたたき込んでおかなくてはならない．

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．